

投資事業評価調書 (新規・継続)

部 局 課 室 名	教育委員会事務局 高校教育課	記 入 者 職 氏 名	高校教育課長 西田 利也 (副課長兼管理班長 東 弘美)
--------------	----------------	----------------	---------------------------------

1 事業の概要

事業名	県立日高高等学校講義棟整備事業	総事業費 (概算)	300,000千円
		R2年度当初 予算計上額	300,000千円

所在地	豊岡市日高町岩中1
事業目的	介護福祉士及び看護師養成課程の教育の充実を図り、超高齢化社会を支える地域の未来を創造する人材育成を推進するため、医療・福祉の専門家による特別講演等の実施ができるよう、講義棟を整備する。
事業内容	<p>整備内容</p> <p>(1) 旧第2寮解体・撤去工事 面積：約1,540㎡ 建物：寄宿舍1棟、寄宿舍・食堂棟1棟、寄宿舍サービス棟、倉庫、燃料庫</p> <p>(2) 講義棟建築工事 面積：約850㎡ (外構は約1,000㎡) 建物：講義棟 (階段状講義室、研修室、講師控室及びトイレを備える)</p>
事業スケジュール	<p>令和2年4月～ 基本設計・実施設計</p> <p>8月～ 旧第2寮解体・撤去工事</p> <p>10月～ 講義棟建築工事</p> <p>令和3年3月 工事完成 (予定)</p>

2 基準に基づく評価

項目	説明
必要性	<p>介護福祉士と看護師をともに養成する課程を持つのは、日高高等学校を含め県内で2校しかなく、特に日高高等学校は、但馬地域を中心に本県の医療・保健・福祉を支える人材育成を担っている。特色ある教育を展開し、生徒の知識・技能を向上させるため、全国各地から著名な研究者、医師、看護師、福祉専門家等を講師に迎える授業を数多く実施しているが、備え付けの放送設備やスライド上映設備、インターネット利用環境がない一般教室や特別教室を使用している現状である。</p> <p>教育の質的向上のため、複数学年又は複数学科の生徒を一堂に集めて講演会、研究会、発表会等を実施できる講義棟を整備する必要がある。</p>
有効性・効率性	<p>当校敷地内にある旧第2寮は、耐震基準を満たさないために平成25年3月をもって閉鎖され、フェンスと有刺鉄線で囲まれた建物がそのまま残っており、日々劣化が進み危険な状態である。</p> <p>講義棟を整備することで、敷地を有効活用し、また、資格取得に意欲的に取り組む生徒にとって、快適な学習環境による学びの質が大きく向上することが期待される。</p>

環境適合性	<p>建築部材等において可能な限り省エネ化を図ることで環境に配慮するとともに、施設の維持管理に要するエネルギー使用量の抑制・効率化を図る。</p> <p>(1) 照明に LED 灯や人感センサーを導入</p> <p>(2) 効率的な空調設備の導入</p> <p>(3) 断熱性の高い壁の使用 等</p>
優先性	<p>耐震基準を満たさない建物が敷地内に残っている危険な状態を解消する必要がある。</p> <p>新施設の整備により、放送設備や上映設備が備え付けでないことによる、授業前の準備に係る教員の負担を軽減でき、また、全学年が収容できることで、生徒に対して効率的な授業・講義を実施することができる。</p>

### 3 審査会意見

審査会意見	<p>事業の必要性、有効性が認められ、整備することは妥当である。</p>
-------	--------------------------------------